

女性技術者を対象としたアンケート等調査報告書

1. 調査目的

女性技術者の建設業への意識や就労環境等に関する課題を把握し、男女を問わずより働きやすい環境を整えるための提言や要望等の参考とすることを目的とする。

2. 調査対象

(一社)富山県建設業協会の会員企業 116 社 200 名の女性技術者

※平成 27 年度 雇用実態及び経営状況に関するアンケート調査で回答があった女性技術者数を基にした。

3. 調査実施期間

平成 27 年 12 月～1 月

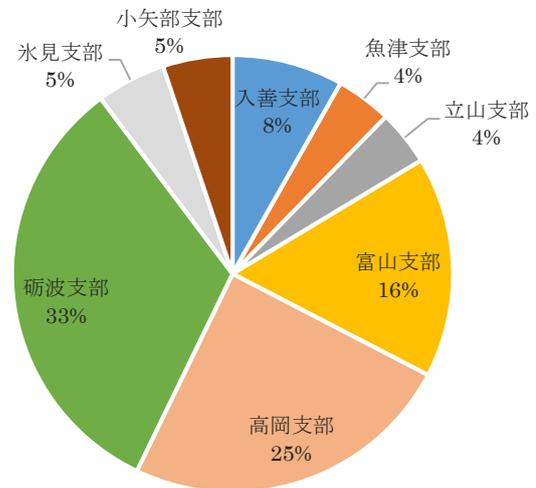
4. 調査実施方法

女性技術者を雇用している企業へ、女性技術者数分の調査票・返信用封筒を郵送し調査回答は郵送で個別に回収した。

5. 回答状況結果

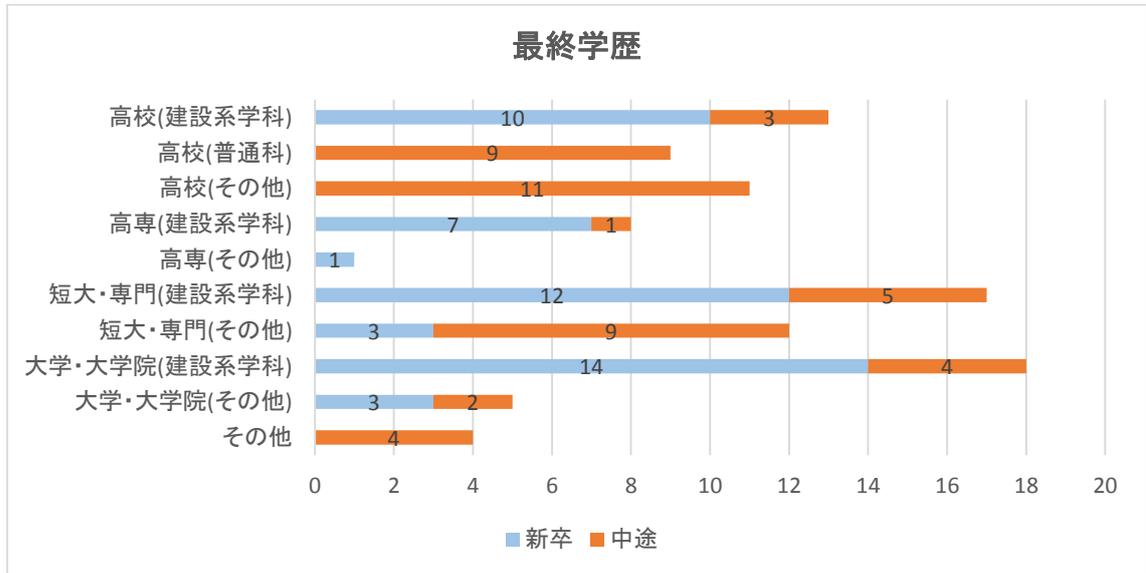
回答者数 98 名 (49%)

支部名	回答数
入善支部	8
魚津支部	4
立山支部	4
富山支部	16
高岡支部	24
砺波支部	32
氷見支部	5
小矢部支部	5
計	98

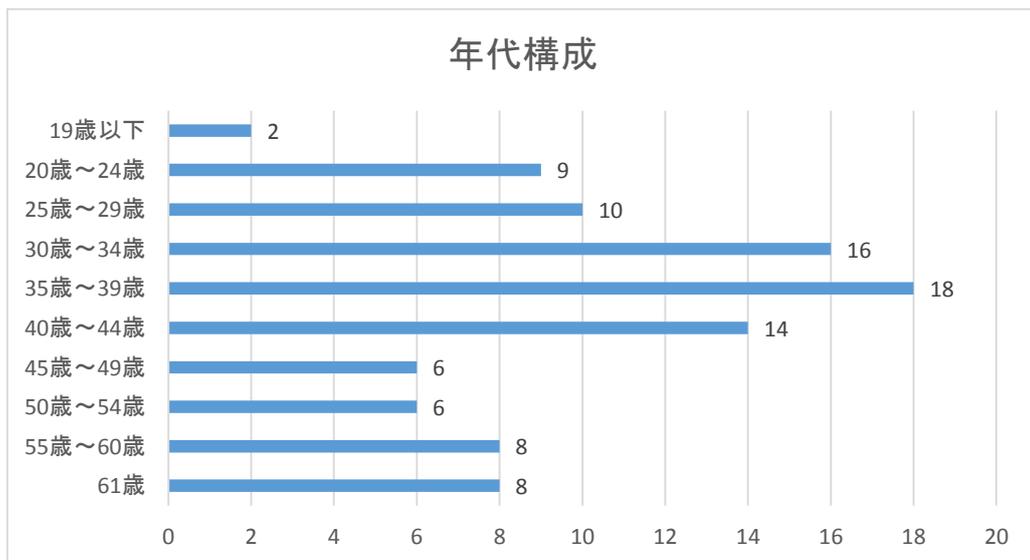


6. 回答者の状況

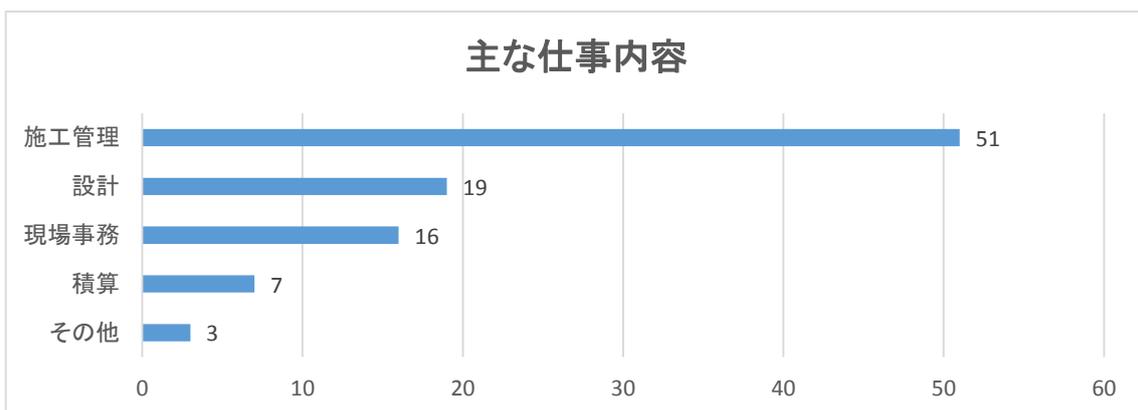
①学歴



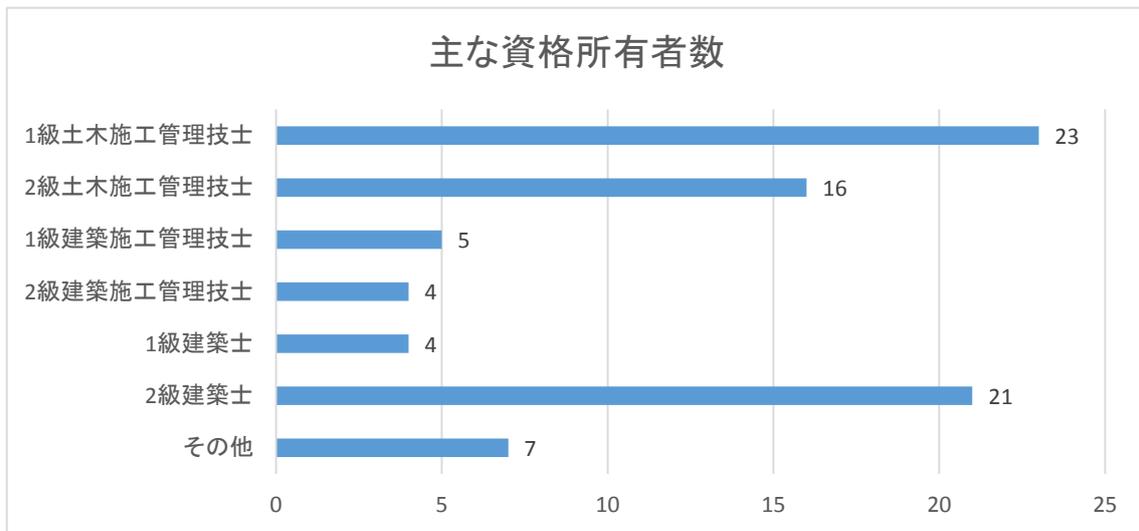
②年代構成



③主な仕事内容

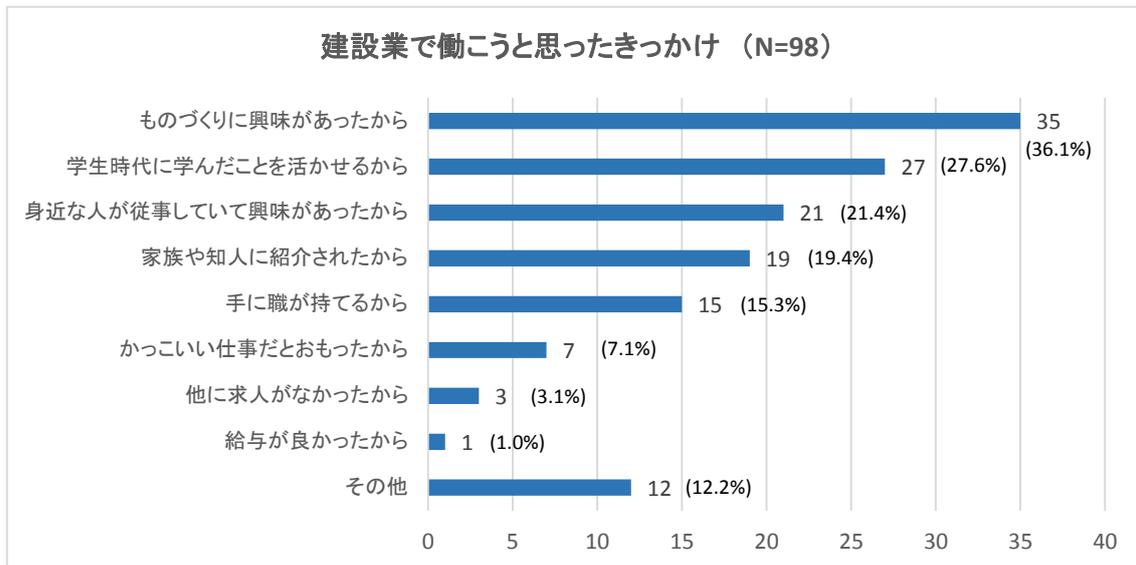


④所有資格



7. 調査結果

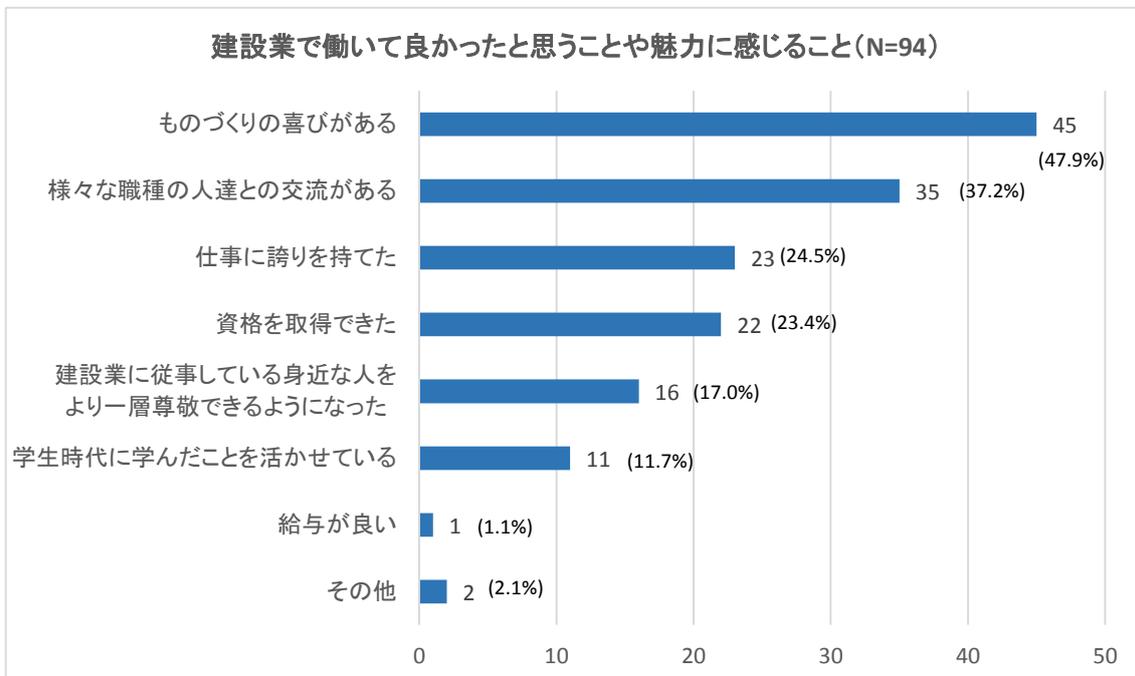
設問1 建設業で働こうと思ったきっかけ（2つまで）



その他の回答内容（カッコ内は回答数）

- ・家業だった（6）、 外仕事に興味があった、 事務採用だったが現場に興味が出た、

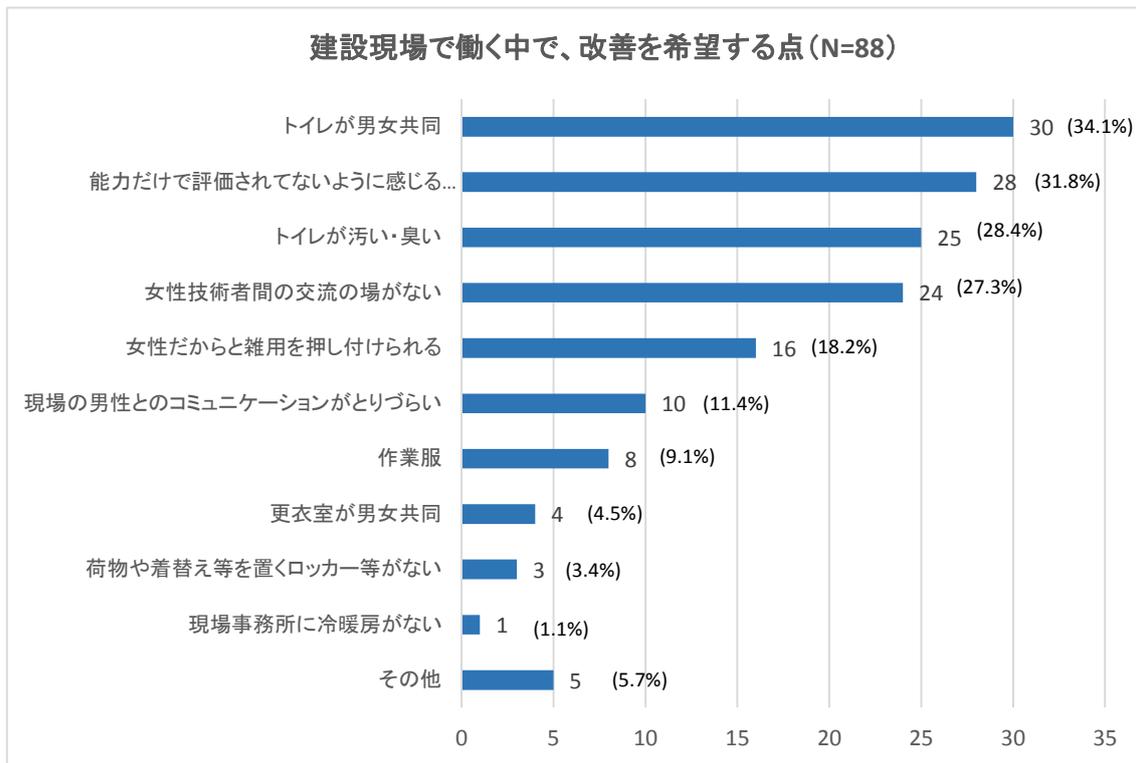
設問2 建設業で働いて良かったと思うことや魅力に感じること（2つまで）



その他の回答内容

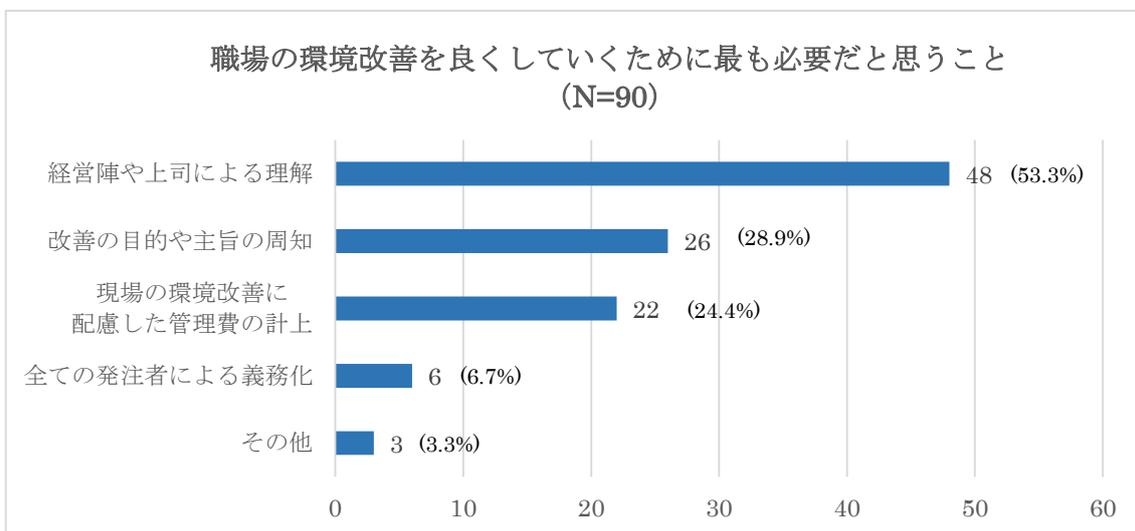
- ・施主からの「ありがとう」

問3 建設現場で働く中で、改善を希望する点（3つまで）



設問4 現場の環境改善を良くしていくために最も必要だと思うこと

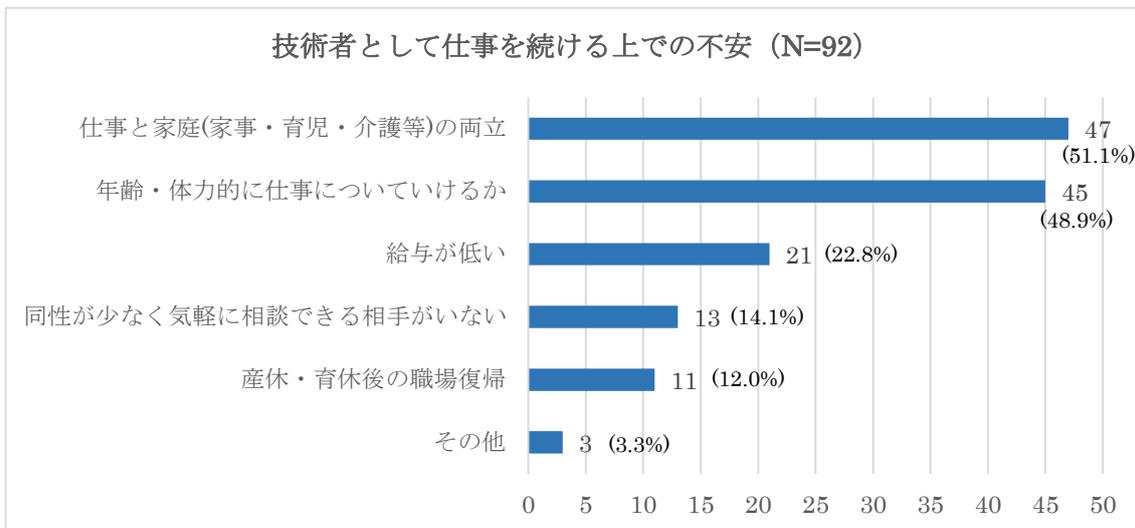
※回答1つまでだが、2つ選択があった回答も計上している



その他の回答内容

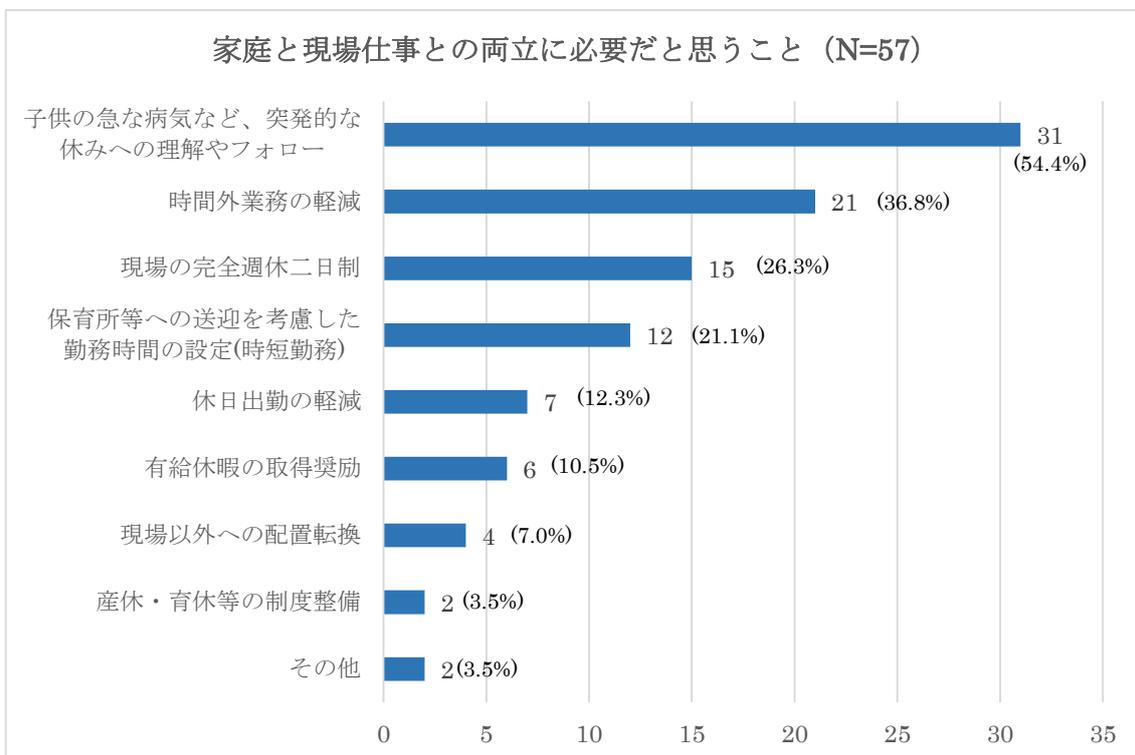
- ・プライベート時間の確保
- ・工事に関わる全ての人の理解

設問5 技術者として仕事を続ける上での不安（2つまで）



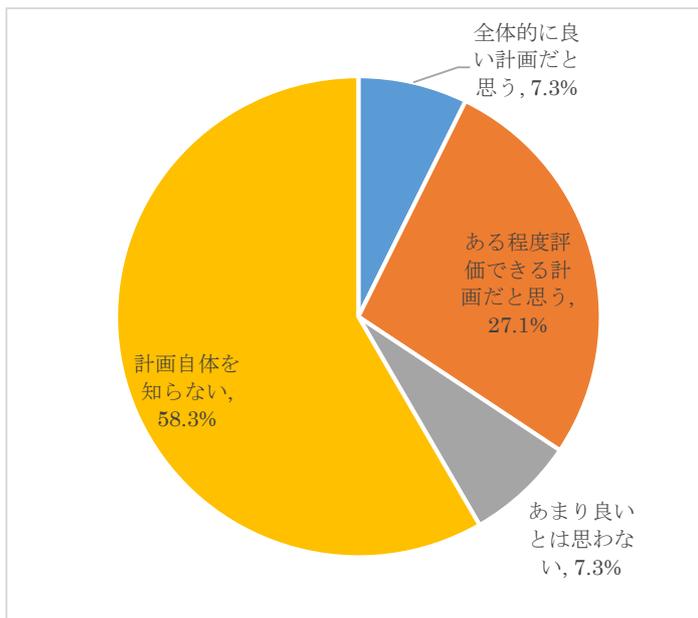
設問6 家庭と現場仕事との両立に必要なと思うこと（回答2つまで）

（家庭と現場仕事との両立を経験されている(されていた)方）



設問7 国土交通省の施策「もっと女性が活躍できる建設業行動計画」について

全体的に良い計画だと思う	7
ある程度評価できる計画だと思う	26
あまり良いとは思わない	7
計画自体を知らない	56
計	96



その理由（記述意見）

（良い）

- ・建設業界において、もっともっと女性の地位を確立、向上して欲しいと思うので。
- ・3K現場からの、改善にもつながるので、とても良いことだと思う。
- ・もっと女性が増えてほしいから。
- ・良いと思いますが、遅いです。今ごろやっとと言う感じです。20年前にしてほしかったです。

（ある程度評価）

- ・良いとは思いますが、女性を特別視しすぎているように感じる。男女問わず、建設業全体の環境整備を行うことが、女性の活躍につながると思う。
- ・女性技術者をクローズアップしていただけるだけでもありがたい。社内での取り組みも活発に行われているが、周囲があまり理解を示されていないのが残念だ。
- ・計画が実行されて現場に反映されれば、私は今の自分の仕事を同じ女性に対してもすすめることができる。今はあまりすすめられない。
- ・建設業に限らず、女性が働きやすい社会はいいと思う。
- ・女性の労働者が増える事は良い事だと思う。ただ、仕事内容は男性女性変わらないのだから、"建設業"そのものの良い面をアピールしてほしい。
- ・良いと思いますが、どうしても大手企業のみ可能な部分もある。女性チームも良いと思うけど、考え方の偏りも出そうだし、女性ばかりは逆に精神的に疲れそう。
- ・ターゲットが、大手ゼネコンで働く女性ばかりで、現実、地方の中小企業で働く女性技術者に目が向かないのでは？
- ・県の男女共同参画チーフ、オフィサーの講演会などにも参加していて、大手企業の話ばかりですが、もっと積極的な行動ができればと思います。
- ・計画自体はとても良い者だと思いますが、どの会社も男性社員の理解がないと無理なのかなと思います。女性ならではの考えは新しいものだと思いますが、男社会なので上手く浸透して行くか不安はあります。
- ・男女共プラスになるような計画なら良いが（高いスキルの女性をサポートする等）、マイナスになるような計画で女性を建設業界に増やしてもダメだと思う。

- ・整備してもらえたいが、結局「これだから女は・・・」と言われそう。
- ・この計画を行うにあたって、男性側の考えられるリスク及びリスク対策についての記載が見られないため、5～10年程実行してみて、ダメならやめてしまうのかと思った。
- ・職場環境、意識変化やスキルアップ等の面から女性技術者の活躍を進めるが、少し簡単すぎて具体的にどんな施策があるか想像しにくい。どこまで実施できるかもわからない。
- ・活躍できるとは考え難い。(実際環境を整備しても、それを清掃したり快適に保つのは、女性の仕事であったりするから)
- ・家庭との両立
- ・作業によっては、女性には無理かなと思うような事もあるように思う。

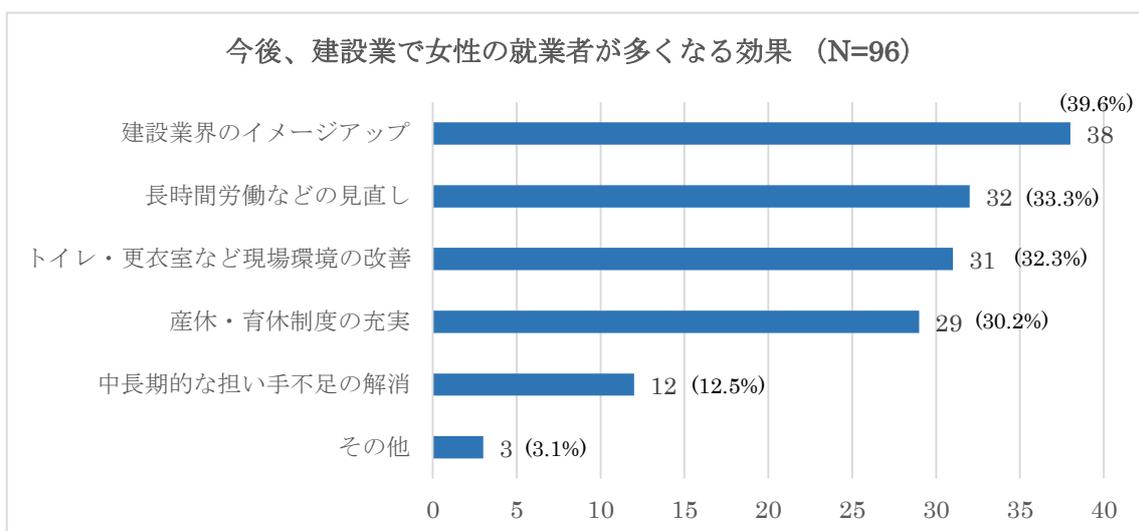
(良いと思わない)

- ・公共工事等は積算基準が変わればトイレなど整備面の予算もですが、小・中規模の民間工事の場合、価格競争等もありそこまで予算がまわらないと思います。また、長時間労働や休暇の取得についても、工期があり職人が現場に来ている場合等、実際には休めない。環境整備の内容が具体的にわかりませんが、強制的な効力があるものにしないと結局は見かけ倒しになると思います。
- ・表面的な行動計画でしかない。女性の更なる活躍を「歓迎」するのではなく、実際に活躍できるように小さな中小企業まで行き届くような、明確な補助や発注者による制度の義務化を明確にしてほしい。
- ・いいところしか見えていない。現状をもっとわかってほしい。
- ・無理に建設業界に女性を増やす必要はない。興味・意欲のある人は自分から進んで入ってくる。それよりも、男性、女性と2分化する考えを変えるべきである。
- ・大企業だけなら・・・

(計画を知らない)

- ・周知不足。十数年前の施策の反省点等をふまえてのものなのか疑問。
- ・官側の発想は、現場とは違う。現場で取り入れても、女性の作業員は0に等しい。(形だけとなる)
- ・業界にいる私が知らない施策です。まずは、もっと情報を広げてほしい。
- ・会社側当からの周知がない。計画を立てても現実には、あまりにもひどい。

設問8 今後、建設業で女性の就業者が多くなると、どのような効果があると思か(2つまで)



設問9 これから建設業界を目指す女性へのメッセージ等

(女性の活躍)

- 私のいる地方にも女性技術者は増えており、活躍しています。入りづらいイメージは取り払って大丈夫です。やりがいがあり、スキルアップの実感できる仕事だと思います。
- とてもやりがいのある仕事だと思います。中小企業で働くことで、地元と密接な関係を築けるところは、大手企業で働くことでは得られないことだと思います。
- 女性にとって建設業で働くということは、とてもキツイ事だと思います。ですが、生きる上で1番あたりまえになっているものを作っているという誇りを持って、女でもできるという気持ちをもてば、女性だって活躍できます！
- 女性ならではの作業があり、働きやすい職場へと改善が出来れば、きっと定着するのではないかと思います。
- 自分がやりたい事を明確にし、やりたい事が出来る会社を選べば、女性であることは障害にはならない。
- この業界に女性が増えることにより、男性も働きやすい環境になっていくと思います。女性にとって、やりがいのある楽しい仕事です。一緒に頑張りましょう。
- 今はまだ女性は少ないですが、これから少しずつ増えていくと思うので、不安はありますが、女性技術者目指してがんばって欲しいです。
- 住宅の工事現場において、お客様に安心感を与えるのに女性の現場代理人が必要になってくると思います。いっしょにやりがいのある仕事をしましょう。
- 現場は女性でも充分まわすことができるし、職人さん達は基本的に優しい。やりがいのある仕事です。
- 女性のできる作業は限られている所もありますが、いろいろな仕事があり、自分のやりたい事が見つかると思いますので、建設の仕事を選んでもらいたいと思います。
- だんだん女性でも活躍できる業界に変化してきました。やりがいのある仕事です！！
- 10年前より女性が仕事をしやすい環境になってきていると思います。
- ゼロから住宅をつくり上げることは、お客様の暮らし方を一緒に話し合い、つくり上げるとてもやりがいのある仕事です。女性ならではの細かな気づかいを活かし、活躍できる場がたくさんあると思います。
- 仕事はキツイこともあります。やりがいがあり、体力的な面以外で男女差別されることもなく、責任ある仕事をまかせてもらえます。好きなことを仕事にするのは人生を充実させる上で重要なことだと思います。
- 昔より入りやすくなったと思います。女である事で差別や特別な目で見られた事もありますが、得をしている部分もあります。自分をしっかり持って頑張れば、評価されます。自分の造った物が見れるのは素敵です。
- 1人でも多く建設業で活躍する女性が増える事を期待したいです。
- 何事もチャレンジ。すべての経験に女性目線をプラスする事で、よりよい建設業界になると思います。
- 代表が私です。業界は発注者、協会の代表などほとんど男性です。女性の活躍には期待したいです。昨今、建設業に係る機械の進化も素晴らしいものがあります。男社会に1人女性が入ることでお互い意識が変わると思います。

(仕事と家庭の両立)

- 仕事と家庭の両立は大変ですが、うまくやりくりする方法を考えるのも楽しいものです。私も楽しんで仕事をしたいと思います。
- 仕事と家庭の両立は本当にツライ。でもやりがいはある。女性の目線ならではの良さをぜひ建設業界でアピールしてほしい。
- 出産、育児(2人・小・中学校)を経験中です。3年ほどのブランクがありましたが、子育て中にも資格を取得できたことなど、女性だからといって不安になることは無いと思います。
- 私の場合職場の上司や同僚の理解があり、辛い事も多くありましたが、これまで続けてくる事ができました。自分の携わった現場が完成した時、とても感激します。みなさんも、造る喜びを感じてください。又、家庭との両立は、大変かもしれませんが、子供はすぐに大きくなります。周りの人に助けてもらって、乗り切ってください。

(建設業界全般)

- 職人さんとの打合せ等は大変ですが、実際に自分の書いた図面や設計図の建物が何もない所から建っていき完成した時にはそれまでの大変さを忘れるくらいうれしいと思います。ものづくりに興味のある方はぜひこの職業をめざして下さい。
- いろんな環境整備は万全ではありませんが、自分の能力を十分発揮できる環境、業界だと思います。社会貢献できる、後世に残すものづくりは、とってやりがいがあります。
- 自分の居場所を見つければ、建設業界でも普通の業界の仕事と同じだと思います。
- 建設業は他の業種と違い、様々な職種の方と仕事し、又、様々な知識が必要となります。現場に出ずして経験は積めないのが、屋内のみの仕事ではないですが、それでもより魅力のある仕事だと私は思います。
- ものづくりの面白さ悦びが実感できます。是非頑張ってください。
- 大変な事の方が多いと思いますが、達成感等も多くあります。
- つらい事もたくさんありますが、そのつらさよりももっと大きな喜びを見つけられると思います。自分のつくった建物が形になって未来へ残るうれしさを味わってほしいです。
- 常に新しい技術が要求されるので楽しい業種だと思います。男性の方はフォローしてくれますよ。興味がある方はどんどん就業されたら良いと思います。
- 休みは他の業界よりありませんが、やりがいはあります。

(アドバイス)

- やりたい事と出来る事の差に屈することなく、コツコツと努め、継続する事が大事だと思います。
- 私自身、建設業に足を入れてまだ2年。知らない事の方が多く、毎日ついていだけ必死です。男社会の建設業は、どうしても「女」というだけで判断される部分もありますし、出来ないだろうと決めつけられる事もしばしばあります。また、長く働いておられる方々はとても尊敬できますが、意見はなかなか通らず、話も聞いてもらえない事もあります。
きっと「男より楽だ」と言われる事が多いとは思いますが、男性よりも男性に理解されない点で悩む事もあると思います。自分なりに芯をもって、周りに頼って歩んで下さい。
- やりがいのある仕事の反面、女性であることが不利になることも多い。男性に劣る部分を探すよりも、男性にはできないことを見つけて、自分の位置を確立していく方が長続きすると思う。
- 男女平等と言われてはいますが、実際の所筋力や体力は男性の方が有利です。それをふまえて自分で出来る所と人にしてもらおう所の区別をした方が良いと思います。自分で出来るけど、めんどうだから人にたのむのは良くないです。
- 腕力では当然敵いません。他に発揮できる能力は必ずあります。女性軽視の古い考え方の上司が引退していくこれからは、今まで以上に環境・条件も改善される事でしょう。但し、自らも仕事に対して甘えを持たず、女性のイメージを下げない努力が大切です。
- 仕事にやりがいを感じるようになれば女性ばかりの社会より人間関係は楽だし、楽しい事が多いと思います。
- どの仕事でも良い悪いはある。それに自分がどこまで理解し納得出来るかであるから、女性である事を深く考えなくても良い。
- 建設業界はまだまだ男性主体の業界なので、覚悟して入ってきて下さい。

(その他)

- 私達が一級を取得してから数十年になりこの業界では女性は続いてないと思います。もっとイメージを良くして従事できる要素が必要かと思います。
- セクハラをセクハラとも思わない言動がたくさんあると思いますが、気にせず負けずにがんばって下さい。
- 女性だからこそ建設業界へ新たなチャレンジを一緒に創っていきましょう (現建設小町より)
- やるなら若い時にやる。
- 自分を信じて頑張ってください。
- 男に負けず、頑張りましょう。
- 一緒に頑張りましょう。 (ほか、「頑張ろう」3件)